

事業名 【所管局】	寄せられた主な意見の概要	事業への反映内容
「インクルーシブ体験」 プログラム 【教育庁】	・障害や高齢は特別なことではない。クルマ椅子やあいマスク体験などではなく、障害や高齢をハンディとせず、自分の能力を生かして生活している魅力的な姿を知る機会をつくってほしい。	・様々な団体やNPO等と連携してテクノロジーやアートを通じた体験プログラムを提供することとします。
	・支援者についての理解も深められる機会をあわせるとなお良いものになると思う。 ・体験後、それを特別な機会だったとその場で完結しないフォローも必要かと思われる。	・「人間と社会」等の授業の中で実施することにより、共生社会に関する理解を深めるとともに、様々な団体やNPO等支援者と連携し、障害当事者の声を直接聞き、障害のある人たちへの支援をインクルーシブなものへと展開するために、私たちに何ができるかという観点から考えていくプログラムになるよう工夫を図ります。
	・視覚障害に限らず、幅広い障害体験・交流を考えてほしい。 ・視覚障害だけでなく、聴覚障害やその他色んなハンディキャップについても当事者意識をもって考える機会があるといいと思う。	・視覚障害に限らず、聴覚障害等多様なハンディキャップを有する人たちのことを、当事者の立場に立って考える機会を体験プログラムとして提供することとします。
妊娠や子育て等の知識に係る 企業内の普及啓発事業 【産業労働局】	・職場の理解が不可欠なので、商工会議所などの団体を通じて普及するのも良いと思う。	・作成したリーフレットについては、経済団体を通じての配布も行うこととします。
政策課題解決型 空き家活用支援事業 【住宅政策本部】	・空き家をシェアオフィスとして貸し出せば、東京都の産業活性化にも繋がると思う。 ・コワーキングスペースなど、色々アイデアがあると思う。	・シェアオフィス、コワーキングスペースへの改修についても、地域の利便性を高める観点から支援の対象とします。
	・ギャラリー、アトリエなど空き家が人の集まる空間になれば嬉しい。	・アートギャラリー、アトリエなどへの改修の要望があることを踏まえ、地域の文化施設の拠点として支援の対象とします。

事業名 【所管局】	寄せられた主な意見の概要	事業への反映内容
介護の魅力PR事業 【福祉局】	・魅力と共に実際の大変さを伝える動画作成のみならず、仕事としての大切さとやりがい分かって貰える為のツールが欲しいです。 ・大変さがクローズアップされがちだが、魅力、楽しみなどにも目が向けられて人材不足解消になれば嬉しい。	・より多くの人に、より具体的に介護の仕事の魅力を伝えることで、介護の仕事のイメージを向上させることを目指します。
東京とどまるマンション に対する電源不足解消 のための支援 【住宅政策本部】	・高層マンションに限らず、エレベーターのあるすべてのマンションを対象にすべき。	・中層マンションにおいても災害対策として有効であることから、高層に限らず支援の対象とします。
	・太陽光など再生可能エネルギー設備設置への補助強化が必要だと思う。 ・蓄電器の購入補助でもいいのかもしれない。	・カーボンハーフ実現のため、蓄電池を主とした非常用発電設備への補助とし、太陽光発電との併用により補助率を変更します。
	・河川氾濫や台風への対策も必要。	・非常用電源設備への浸水対策についても支援の対象とします。
“自転車は左側通行” 自転車に小さい ステッカーを貼る事業 【生活文化スポーツ局】	・販売店に協力してもらい、新車への貼付けを推進してもらいたい。 ・自転車購入時や修理依頼時の啓発も必要と思う。	・ステッカーの配布先として、自転車販売店への配布を検討します。
	・自転車は軽車両であり左側通行ということを老若男女知らない方が多すぎるので、もっと周知が必要であると考えます。 ・子ども、高齢者、子連れなどの除外なく広まって欲しいと思います。	・子供を中心に、全ての世代に行き届く配布先を選定します。なお、学校への配布を通じて、保護者にとっては子供と一緒に交通ルールについて考える契機となることを想定しています。
	・ヘルメットに関しても周知すると良いと思う。 ・同時に「ヘルメット着用」のステッカーも欲しい。	・「ヘルメット着用」について記載したステッカーも作成することとし、ステッカーの種類を2パターンとすることとします。

事業名 【所管局】	寄せられた主な意見の概要	事業への反映内容
英語でインターンシップ体験 【教育庁】	・グローバルに活躍できる人材育成のため、幅広い業種で体験できるとよりよいのではないかと。	・商社、外資系企業、外国公的機関など日常的に英語を使用する企業・団体を体験先とします。
	・外国人や職業感の理解もセットで必要ではないかと。 ・ビジネス英語等、当該職場で用いられる英語の事前講座も併せて実施すべき。	・外国の文化や習慣、職業観の理解、ビジネス英語等、当該職場で用いられる英語を学ぶ事前研修を実施することとしました。
都立高校等における 出張販売等の導入の促進 【教育庁】	・安い金額設定をお願いしたい。 ・学生向けに少し安めの価格設定にしてあげられると良い。	・市販価格よりも低廉な価格での販売を求めることが可能である、教育財産の使用許可等で対応することとしました。
	・無人販売コンビニの設置もあるとよい。 ・対人販売でなくても自販機形態で菓子パンなどの軽食を賄えるものがあるといいのではないかと。	・それらを学校側が導入しやすいよう、設置に至るまでのマニュアル作成も行うことにしました。
	・障がい者が作業所などで作った食品などを取り扱ってほしいと思う。	・障害の特性に応じた出張販売の環境づくりを行い、障害者による販売も促進することにしました。